

(公社)越前市シルバー人材センター安全・適正就業委員会

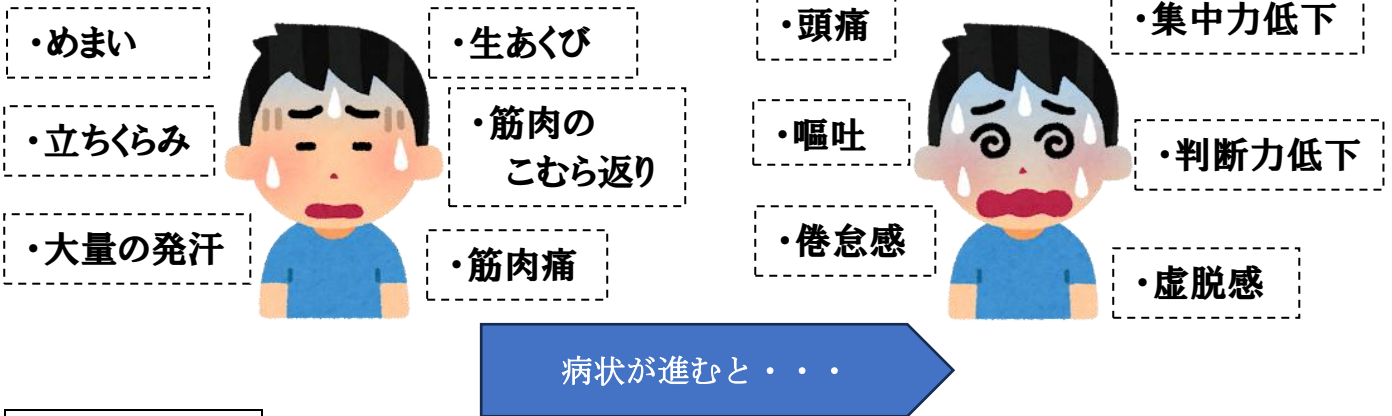
# 安全だより

## ～熱中症に気を付けましょう～

### 熱中症とは？

「熱中症」は、高温多湿な環境下で、発汗による体温調節等がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態を指します。屋外だけでなく室内で何もしていないときでも発症し、場合によっては死亡することもあります。また、高齢者は暑さや水分不足に対する感覚機能が低下しており、暑さに対するからだの調節機能も低下しているため、注意が必要です。

### 熱中症の症状



### 熱中症の応急処置

- ① エアコンが効いている室内や風通しのよい日陰など涼しい場所へ避難
- ② 衣服をゆるめ、身体を冷やす（首の周り、脇の下、脚の付け根など）
- ③ 経口補水液を補給



ただし、経口補水液を一時に大量に飲むと、ナトリウムの過剰摂取になる可能性もあります。腎臓、心臓等の疾患の治療中で、医師に水分の摂取について指示されている場合は、指示に従ってください。

- 室内でも、外出時でも、のどの渇きを感じていなくてもこまめに水分補給しましょう！
- 自力で水を飲めない・応答がおかしい時はためらわず救急車を呼びましょう！

## 夏型交通事故

交通事故の発生が最も多いのが12月、そしてその次に多いのが7月だと言われているそうです。暑さによるぼんやり運転（漫然運転）や気の緩み、疲労による居眠り運転が増えることで、自分の走るべき車線から逸脱し対向車と正面衝突や、電柱などに衝突する単独事故が多く発生し、死亡や重症という重大事故に発展しやすい特徴があります。

また夏場は、梅雨や台風などの天候の急変や、夏休みシーズンの渋滞も事故に遭いやすい理由として挙げられます。夏型交通事故は、日差しが強く暑さや疲労が溜まりやすい、昼過ぎから午後3時頃までの時間帯が特に発生しやすいそうです。就業先への自転車・バイク・徒歩での移動の際も、交通安全には十分に注意しましょう。



これらの事故を防ぐためには、日々の体調管理と、こまめな休息、水分・塩分補給を意識的に取ることが必要です。睡眠時にはエアコンを使用するなどして十分な睡眠をとり、日常生活を整え、疲労を溜めないようにしましょう。また自分の小さな体調の変化も気にかけて、絶対に無理をしないことが大切です。

## 免責金額を変更しました

近年、賠償責任事故の増加していること、賠償額が高額化していることを受けて、今年度からシルバー賠償責任保険時の会員免責額が1万円から3万円に上がりました。保険料の上昇を抑え、事故の抑止のための措置となっております。



越前市シルバー人材センターでの賠償責任事故の多くは草刈作業時に起きている事故ですが、他センターでは「窓が閉まっている」と思い（実際は網戸になっていた）水をかけてしまい機器に水が入り故障させてしまった。」「高さ3m太さ40cmの樹木を根元から伐採しようとしたところ、倒れる直前に電柱の支線に引っ掛かり、支線が損傷した。」といった事故が起きています。

どんな仕事でも不注意から事故は起こりうるものですので、会員の皆様1人1人が日頃の慣れた仕事でも改めて注意して、事故・ケガの起きないように気を付けてください。

## ●今年度の県内センターでの事故

発生月日時	仕事の内容	事故の程度	対策と問題点
4/19(土) 11:30	伐採作業	伐採した後の枝を、大工用のハンディー丸鋸で細かく切断していた。電源を切り休憩しようとした際に、枝が丸鋸の刃に当たり、キックバックして、右足太ももに刃が接触し、裂傷した。	不注意。 別の行動に移る前に要確認。 チャップスの着用を。
5/15(木) 18:00	配膳業務	食事配膳作業中に配膳用台車に足が触れ転倒したところへ台車の車輪が左足親指と接触し爪が剥がれた。	足元の不注意。
6/24(火) 10:00	草刈作業	草刈作業中にチップソーが石に当たり、欠けたチップが左足のひざ周囲2カ所に入った。	作業現場の障害物確認 すね当ての着用